



第52卷 第1号

史学・地理学・考古学

- 太閤検地の斗代について……………松 尾 寿 (1)
- 小楠学の儒教的思想形態について……………今 中 寛 司 (33)
- 唐帝国の世界性……………田 村 実 造 (65)
- 朝鮮・日本における初期金属器文化の系譜と展開…近 藤 喬 一 (75)
- 銅矛を中心として——

研究ノート

- イングランド封建制の発展に関する一試論……………富 沢 靈 岸 (116)

書 評

- 小葉田淳著：日本鋳山史の研究……………伊 東 多 三 郎 (135)
- 五十川武雄著：十九世紀英国選挙法改革の研究……………村 岡 健 次 (140)

会 報 学界消息

史 学 研 究 会

京都大学文学部内
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部
語学国文学研究室

鎌倉時代に写された西蔵文字

筆跡の恒常性について

交木板碑の史料性

福正字の牛玉宝印について

本居宣長の書簡

出雲神魂神社の古文獻

織田信長と浅井長政との握手

信州秋山銅山について

——正徳明幕府の御用銅政策と関連して——

天眞寺所蔵の松平不昧・月潭の書状につ

いて——

中山法華経寺文書について

地方文書より見た代官領の性格

旗本石河政平の死

栃木県における古文書類所在の概況

神護寺実録帳について

後北条氏と金剛王院融山

——安房妙本寺文書を中心に——

金鶴形一封——琉球より清への謝恩——

金山 正好

猪刈 秀一

千々和 実

中村 直勝

木代 修一

村田 正志

奥野 高広

菊地 義美

志水 正司

中尾 堯

村上 直

川村 優

徳田 浩淳

福井 俊彦

小笠原長和

宮田 俊彦

会 告

委員 前川 和也氏は京都大学人文科学研究所助手に就任のため委員を辞任されましたので、代って大戸千之氏が委嘱されました。右、お知らせいたします。

委員会だより

◇ 日本学術会議第八期の会員選挙の結果、
本会推薦の井上智勇氏は史学第一位で当選されました。会員各位の御援助を深く感謝いたします。日本学術会議の直面する問題は、日本の学術体制にとってますます重大性を加えてきておりますが、井上氏が、過去三期にわたる豊富な経験を生かされ、一層ご活躍されますよう、御願する次第であります。

◇ 昭和四十三年から四十四年、各大学で爆発しつつある学生闘争は、『史林』の発刊にもさまざまな影響を与えています。幸か不幸か、本誌は今までに発刊がおくれておりましたが、特には目立たない訳であります。結局本号までにとりかえし得ませんでした。

◇ 学生闘争によって提起されている問題は多岐にわたりますが、学問のあり方と

してどう受けとめるか、むろん委員会でも討論しています。委員会の構成者は、戦中派、戦後派、そしていわゆる安後派となりますが、歴史学への主体的なとりくみ方に、かなりの差があります。新制大学が発足してからもすでに二十年、その間の歴史学・地理学・考古学を、あらためてふりかえってみる必要を痛感するのであります。

◇ さしあたり委員会の意向としては、より若い世代によって、戦後史学をふりかえる例会をもちたいと考えていますが、皆様からも、戦後史学の評価をめぐって原稿をお寄せ下さることを期待いたします。

◇ 毎度ながら、誌代のご納入をよろしく。

史 林 (第五二巻第一号)

一九六八年二月二五日印刷 定価三〇〇円
一九六九年一月一日発行

発行人

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

史 学 研 究 会

理事長 井 上 智 勇

印刷所

京都市下京区西七条御所ノ内中町五〇
中村印刷株式会社

THE SHIRIN
or the
JOURNAL OF HISTORY

Vol. LII, No. 1

Jun., 1969

CONTENTS

Articles :

- On the *Todai* 斗代 in the Taikô Kenchi 太閤検地 *H. Matsuo* (1)
- On the Confucian Form of Thinking
in the Shonan 小楠 Theory *K. Imanaka* (33)
- Universality of the T'ang 唐 Dynasty *Z. Tamura* (65)
- Genealogy and Development of the Culture
in the early Metallic Age in Korea and Japan *T. Kondô* (75)

Note :

- An Interpretation of the Development
of the English Feudalism *R. Tomizawa* (116)

Book Reviews and News

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan